

ペヘレイの種苗生産

石崎 博美・岡 彬・小山 定久

丹沢湖への種苗放流と養殖用の種苗配布を目的として、ペヘレイの種苗生産を行った。

採卵およびふ化

採卵とふ化の状況を第1表に示した。採卵は、昭和58年4月19日から6月1日まで43日間行った。

採卵およびふ化は、前年度と同じ方法で行った。

第1表 ペヘレイの採卵ふ化状況 (昭和58年度)

採卵期間	4.19～6.1
使用親魚数	169尾
産卵親魚数	137尾
採卵数	1,285,000粒
発眼率	67.5%
発眼卵数	867,000粒
ふ化仔魚数	281,000尾
ふ化率	21.9%

採卵に用いた親魚は169尾(7年魚154尾、3年魚15尾)で、このうち実際に産卵した親魚は137尾であった。

ふ化は5月7日から始まり、6月11日が最終であった。この間のふ化仔魚数の合計は281千尾で、推定採卵数に対するふ化率は21.9%であった。ふ化管理期間中の水温は第2表に示したとおりである。

第2表 ふ化水温 (昭和58年度)

月旬	時刻	9時	4時
		℃	℃
4	中	15.5	16.0
	下	15.1	17.7
	上	18.2	19.4
5	中	18.7	19.8
	下	19.2	20.1
6	上	20.1	21.2

仔稚魚の飼育状況

飼育池

仔稚魚の飼育は主に循環ろ過池(7.2m²×4面、9.0m²×2面)を使用した。途中からは稚魚の分養のため、屋内のコンクリート池(22.6m²)2面と屋外の丸型コンクリート池(65.0m²)1面を使用した。

飼育水

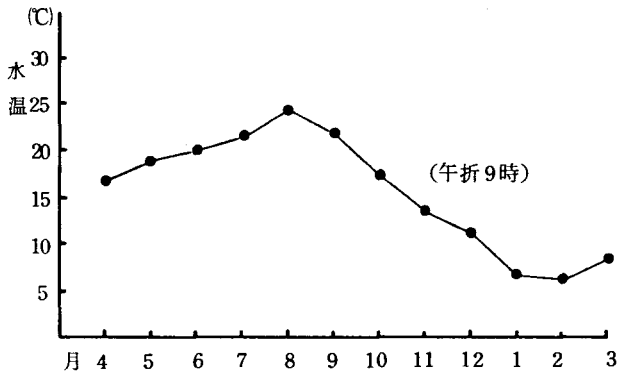
循環ろ過飼育池ではアレン氏処方的人工海水(cℓ4%)を用いた。その他の飼育池では湧水による流水飼育(注水量30ℓ/分～60ℓ/分)とした。

放養尾数

仔魚の初期放養尾数は4500尾/m²～9500尾/m²の範囲とした。

飼育水温

ペヘレイ仔稚魚の循環ろ過池における飼育水温の年変化を第1図に示した。



第1図 ペヘレイ仔稚魚の飼育水温 (循環ろ過池の年変化)
(昭和58年4月～昭和59年3月)

飼餌料

初期飼料は、パン酵母とクロレラで培養したシオミズツボワムシを主餌料とし、市販のアユ用初期飼料を併用した。ふ化後30日目からはアユ用の市販配合飼料を主餌料とし、これにパン酵母で培養したモイナを1日2回20日間程度給餌した。ふ化後50日目以降は、アユ及びコイ用の市販配合飼料のみとし、夫々ペヘレイの成長に合わせて使用した。

魚病

循環ろ過池の汽水で、ふ化直後から飼育した稚魚については魚病の発生はみられなかった。しかし、ふ化後45日目以降に一部分養して、淡水（湧水）飼育に切り換えた稚魚に細菌性の魚病が発生した。罹病魚には食塩、エルパジン（ニフレスチン酸ナトリウム）による薬浴と水産用テトラマイシンの経口投与を行ったが効果はなく、移収した稚魚4万尾のうち、約70%が死亡した。

種苗生産結果

総生産数

本年度の種苗生産の結果を第3表に示した。

種苗の総生産数は、119.5千尾であった。

このうち本年度のふ化仔魚から飼育したものは73.8千尾で、ふ化仔魚からの歩留まりは26.3%であった。

第3表 ペヘレイ種苗の生産結果（昭和58年度）

用途	項目	尾数 (尾)	平均 体重 (g)	備 考
放 流		45,700	8.2	丹沢湖へ放流 前年度繰越魚
養殖企業化試験 配 布		40,800	1.2	養殖業者6件に配布
次年度放流 及び養成用		33,000	1.2	次年度へ繰越
計		119,500		

種苗配布

県内の養殖業者に対して行ったペヘレイ種苗の配布状況は、第4表に示したとおりである。

第4表 養殖用ペヘレイ種苗の配布状況
（昭和58年度）

配布件数 No	配布月日	配 布 内 訳		
		尾 数 (尾)	重 量 (kg)	平均体重 (g)
1	5.8.11.15	5,000	6.5	1.3
2	5.8.11.2.9	5,000	6.0	1.2
3	5.8.11.3.0	300	0.5	1.7
4	5.8.12.1	28,000	33.6	1.2
5	5.8.12.7	1,500	2.1	1.4
6	5.8.12.16	1,000	1.1	1.1
合 計		40,800	49.8	1.2

放 流

本年度は前年度に生産し、1年間飼育したものを丹沢湖に放流した。

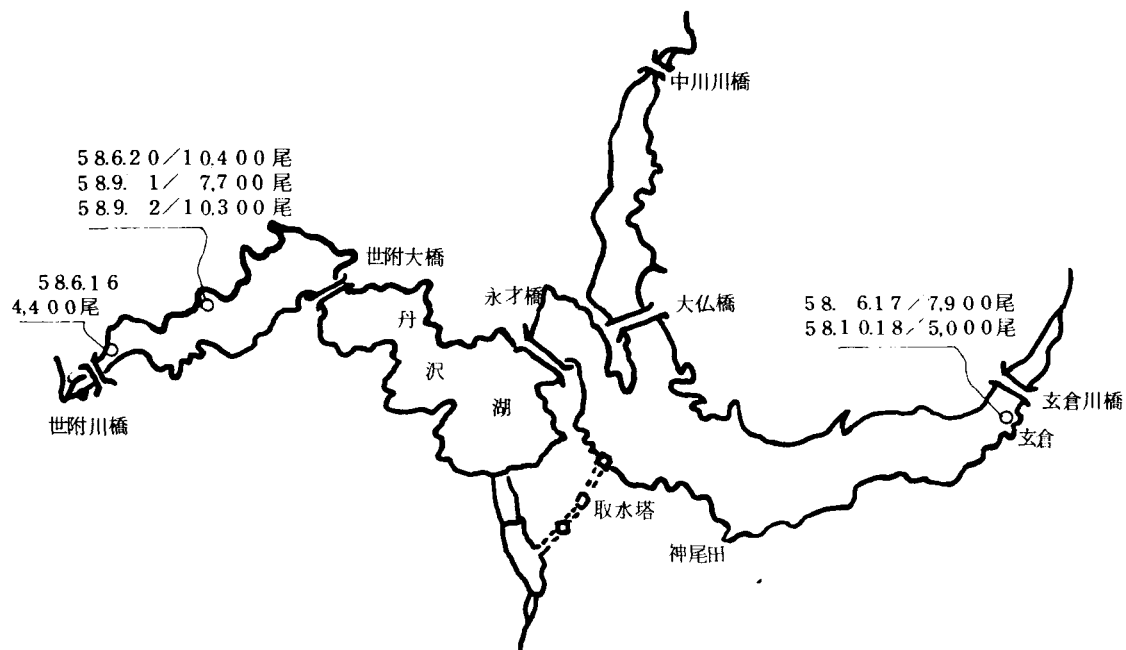
ペヘレイの放流状況は第5表に示したとおりで、昭和58年6月16日から同年10月18日まで6回に分け、合計45,700尾を放流した。放流場所等を第2図に示した。

要 約

- 1 県内の丹沢湖におけるペヘレイ資源の維持と定着を図るための種苗放流と、養殖用の種苗配布を行うため種苗生産を行った。
- 2 採卵は169尾の親魚を使用し、昭和58年4月19日から6月1日まで、1,285千粒を採卵した。
- 3 ふ化仔魚数は281千尾で、ふ化率の平均は21.9%であった。
- 4 種苗の総生産数は119.5千尾で、このうち本年度のふ化仔魚から生産したものは73.8千尾であった。
- 5 種苗は養殖用として40.8千尾を配布したほか、45.7千尾を丹沢湖へ放流した。

第5表 ペヘレイの種苗放流状況（昭和58年度）

回数	放流 月 日	放流 尾数 (尾)	体 長 (cm)		体 重 (g)		放 流 場 所
			範 囲	平均	範 囲	平均	
1	6.16	4,400	7.1~13.4	9.2	1.7~19.5	6.7	世 附 川
2	6.17	7,900	7.1~13.0	9.1	2.2~16.0	6.5	玄 倉
3	6.20	10,400	6.0~12.0	8.2	2.0~13.5	4.8	世 附 川
4	9. 1	7,700	8.0~15.4	10.0	2.2~20.5	9.2	同 上
5	9. 2	10,300	8.0~15.4	10.0	2.2~20.5	9.2	同 上
6	10.18	5,000	8.7~14.2	11.2	5.9~26.3	13.7	玄 倉
計		45,700	—	—	—	—	—



第2図 ペヘレイ放流場所（昭和58年度）